



## 令和8年度 第46回入学式「式辞」

高尾の山に咲きほころぶ桜と、吹き抜けるさわやかな風に、春の息吹を感じる季節となりました。この躍動感みなぎる春の佳き日に、PTA会長 木戸口 智一様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、ここに令和八年度 金沢市立高尾台中学校 第四十六回入学式を挙行できますことは、職員一同の大きな喜びであります。

一九三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今日の日を心待ちにしていたことでしょう。私たち教職員も、皆さんの入学を心より楽しみにしておりました。先ほど担任から一人一人の名前が呼ばれました。今日から皆さんは、高尾台中学校という家族の一員です。

この三月まで、皆さんは小学校の最高学年として、学校の中心となって活躍してきました。六年間で身に付けた力に自信と誇りを持ち、中学校でも、学習や運動、学級活動や生徒会活動に積極的に取り組み、大いに力を発揮してくれることを期待しています。

さて、本校の校訓は「敬愛・奉仕・誠実」です。校訓とは、学校生活の指針となるものです。この言葉には、それぞれ次のような意味が込められています。

敬愛とは、思いやりの心を持つこと。

奉仕とは、すすんで学び、働くこと。

誠実とは、あいさつができ、時間や決まりを守ることです。

この校訓を大切にし、充実した中学校生活を送ってほしいと願っています。

皆さんに、これからの中学校生活に向けて、お願いしたいことを三つお話しします。

一つ目は、自分を大切にすることです。自分を大切にすることは、同時に他の人を大切にすることでもあります。仲間とともに過ごすことで、楽しさは広がり、つらいことも乗り越えていくことができます。ぜひ、友だちのよいところを見つけ、互いに認め合う気持ちを大切にしてください。皆さん一人一人が、かけがえのない存在です。自分を大切にするように、周りの人も大切にしてください。

二つ目は、勉強や運動など、何事にも精一杯取り組むことです。日々の学びは、自分の将来を切り拓く力となります。これからの時代においては、知識だけでなく、自ら考え、行動する力が求められます。部活動や学校行事においても、自ら考え、仲間を思いやる行動ができるようになってください。そして、自分の夢や目標を、この三年間で実現してください。

三つ目は、「金沢子どもかがやき宣言」についてです。皆さんも小学校で聞いたことがあると思います。これは、金沢を誇り、愛し、その魅力を全国や世界に発信しようという思いからつくられた、八つの行動目標です。

例えば、「すすんであいさつをします」「ありがたの気持ちを伝えます」など、どれも当たり前のことです。しかし、その当たり前のことを当たり前に行動できることこそが、とても大切です。ぜひ日々の生活の中で実行してください。

保護者・ご家族の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。本日より、大切なお子様をお預かりいたしますが、教職員一同、心をつなげて教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様におかれましても、本校の一員として、温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日ご多用の中、ご臨席賜りましたご来賓の皆様には深く感謝申し上げますとともに、今後とも本校の教育活動に、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。